

第 8 回 旧北上川河口かわまちづくり検討会

「第 7 回 旧北上川河口かわまちづくり検討会」以降の検討概要




国土交通省 北上川下流河川事務所



石 巻 市

1 第7回検討会の主な意見と対応状況

 : 地区別ワーキングでの検討事項

第7回検討会の主な意見		対応状況等	
南浜地区	石巻南浜津波復興記念公園との連携	⇒ ● 祈念公園との排水機場の管理通路部分に、横断歩道の設置を検討して欲しい。	⇒ ● マリーナ用地を活用して歩行空間を確保し、横断歩道を設置。
		⇒ ● 聖人堀が祈念公園から繋がっていることを示すデザインとなるよう、開渠化を検討して欲しい。	⇒ ● 管理用通路の整備で既に暗渠化しており、開渠化は困難。
	● 舗装は舗装パターンを揃えとともに、祈念公園の園路の線形が緩やかなカーブを描いているので合わせる方がよい。	⇒ ● 管理用通路の線形の変更は困難。 ● 脱色アスファルト舗装を用いて、祈念公園の園路舗装と統一感を図る。	
鎮守大橋補強土壁のデザイン	● 鎮守大橋右岸側アプローチ道路の補強土壁パネルについて、可能であれば、中央地区堤防一体空間で使用したシンプルなテクスチャーのパネルを使って欲しい。	⇒ ● 中央地区堤防一体空間と同型ではないが、長方形（はつり仕上げ）のシンプルな形状のものを用いた。	
中央地区	北広場の計画	● 北広場の計画が諸問題で中断していることは承知しているが、今後進めていく必要がある、対応をお願いしたい。	⇒ ● 石巻市で設計を実施中。
	堤防一体空間での社会実験	● 商業スペースは6地区すべてで実施する予定なのか。	⇒ ● 中央地区の堤防一体空間で、「堤防利活用協議会」という組織を設立し、河川敷地を利用した民間事業者の営利活動を行う社会実験を実施。本年度も社会実験を継続実施中。 ● 他地区については、整備後の地域による利用形態、ニーズに応じて検討。
住吉・大橋地区	大島神社下流テラス スロープ・テラス広場	⇒ ● 大島神社下流テラスのスロープの勾配が15%であるが、屋外だと少しきつい。テラスのスロープが上段から張り出す形ではなく、掘り込む形状にして勾配を緩くした方が良いのではないかと。	⇒ ● スロープは、上段に掘り込む形状に変更（勾配1:8）。
		⇒ ● 大島神社前のテラスの広場部分が凸形状になっているが、凹形状にした方が動線の交差がスムーズになるのではないかと。	⇒ ● スロープの動線を確認し、基設計通り凸形状で進めることとした。
	テラス斜面の自然石修景	● テラス部の斜面は、芝が水に浸かる頻度が高いと汚くなるため、自然石をテラス高まで設置した方がよい。	⇒ ● 石張りは、朔望平均満潮位までを目安に施工することとした。
	住吉地区新規矢板打設区間（浮桟橋付近）の通路について	● テラス幅が1.5mでは、車椅子やベビーカーを押した利用を考えると狭い。川表に張り出す構造でも良いので、テラス幅員は2mを確保できないか。 ● 幅員が狭い区間だけで良いので、脱輪防止のために5cm程度の立上りがあった方がよい。	⇒ ● 下流側の区間では、拡幅は困難。ただし、浮桟橋に接する区間は、矢板の笠コン部分を工夫することで可能な限り拡幅（W=1.8m）。 ● 脱輪防止の立上りは、人が躓く等の恐れもある。後施工も可能なため、当初は設置せずに、供用開始後に必要に応じて設置する方針とする。
	川側飛石の配置間隔	● 飛石の配置は、川のスケール感から考えると、大胆に間隔のグラデーションを付けた方がよい。	⇒ ● 既に施工済みの区間を確認し、再検討を実施。 ● 令和2年6月に、現地にて施工業者立会いのもと最終確認を行い、施工済。
	住吉公園・雄島	● 照明を設置する場合は、ソーラー照明ではない方が、照明灯のデザインの幅を広げられる。 ● 雄島には昔カニがたくさんいたが、現在は環境が変わったのかいなくなった。昔のようにカニ取りができるような環境整備をして欲しい。 ● 太鼓橋は、人道橋の設置基準で設計すると、オーバースペックになるのではないかと心配している。オーバースペックにならないよう、法令や基準等を良く調べて設計して欲しい。	⇒ ● 石巻市で設計を実施中。
	石巻大橋特殊堤区間	● 石巻大橋下流部のパラペット（特殊堤）のデザインが気になっているので、検討が進んだら確認をさせて欲しい。	⇒ ● 特別WG（R2.11.9）にて、佐々木座長、平野委員から助言をいただき、調整中。
川口・湊地区	修景捨石の設置範囲	● 右岸鎮守大橋下に修景捨石が無いが、川への転落等に問題は無いかと。	⇒ ● ポンプ場の捌け口のため、修景捨石の設置は困難であり、下流側は港湾区域になっているので、落水対応としてタラップ等で対応する。
不動・八幡地区	石巻大橋左岸橋脚部の堤防形状	● 石巻大橋左岸側の橋脚部について、堤防を盛る形状となっているが、橋の下の堤防天端を人は通れるのか。	⇒ ● 堤防盛土を既設のアプローチ部分にぶつけるしかないため、石巻大橋下の堤防天端は通れなくなる。

第7回検討会の主な意見		対応状況 等	
井内・藤巻地区	堤防山付箇所の広場の形状	・ガードレール・車止めは、管理境界（河川、県道）に設置するのではなく、通路・広場の形状に合わせて設置位置を決めて欲しい。	⇒ ●ガードレール・車止めの位置は、通路・広場の形状に合わせた形で設計。
	県道石巻雄勝線の横断歩道の設置位置	・県道石巻雄勝線と堤防の一体区間について、川の階段や、県道の擦り付けが終わるところなど、何カ所か横断歩道が必要ではないか。 ・横断歩道を付ける場合には、道路照明も付けて欲しい。	⇒ ●警察協議の結果、住宅地側へのアプローチ部の交差点についてのみ、階段工の天端部に奥行き1.5mの溜まり空間を設けることを条件に、横断歩道の設置が許可された。 ●横断歩道の設置条件として、道路照明を設置することとなった。
その他	駐車場	・川へは駐車場、駐輪場が無いと行きにくいと考えるが、駐車場の配置計画等はあるのか。 ・空地为砂利敷きにする程度で構わないので、駐車スペースを確保することを考えて欲しい。また、ポンプ場の土地を一般駐車場として活用する等、柔軟な対応を検討して欲しい。 ・平常時の駐車場は駐車可能スペースをネットで公開するとか、かわまちづくりの「まちづくり」のテーマとして商工会と考えていただきたい。	⇒ ●南浜は、突端部の公園整備に駐車場の設置を予定している。南浜マリナー、石巻南浜津波復興祈念公園、離島航路、湊地区二線堤接合部に駐車場があり、連携して使える。 ●川口地区は、新内海橋たもとのループ内に駐車場を整備する予定。また、復興事業等で発生した公共空地を駐車場にするなど活用していきたい。
	トイレ	・飲食をするとトイレの問題が出てくる、トイレの問題もどのように考えているか教えて欲しい。 ・ユーザー視点では、屋外の公衆トイレよりも飲食店やコンビニのトイレの方が安心できる。まち中の店舗でトイレをお貸しできる箇所を示したトイレマップのようなものがあると、来訪者が安心できる。かわまちづくりとして、議論していただきたい。	⇒ ●公共・民間（有料等）の駐車場、公共空地（駐車場候補地）を抽出し、整理中。公開方法については、検討を要す。 ⇒ ●湊地区の防災緑地と堤防と合流箇所のできる広場に、新たなトイレの建設を進めている。 ⇒ ●公共・民間（コンビニ等）のトイレ等を抽出し、整理中。公開方法については、検討を要す。

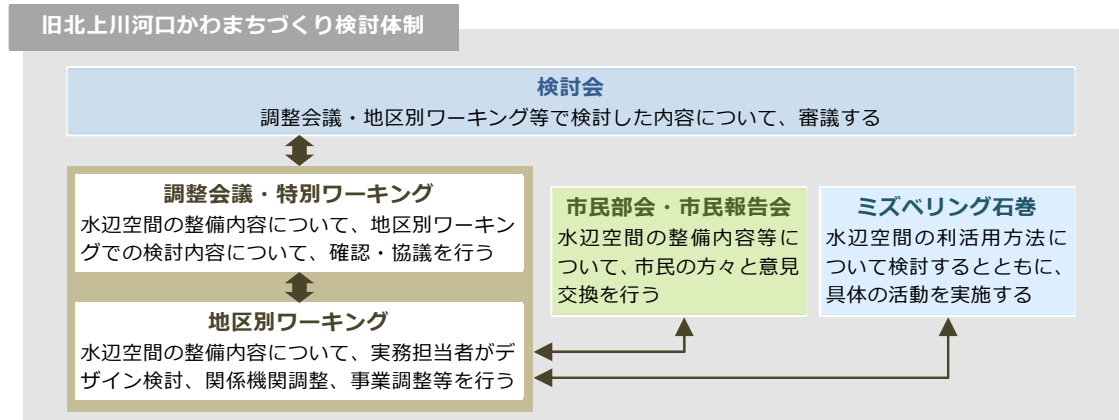
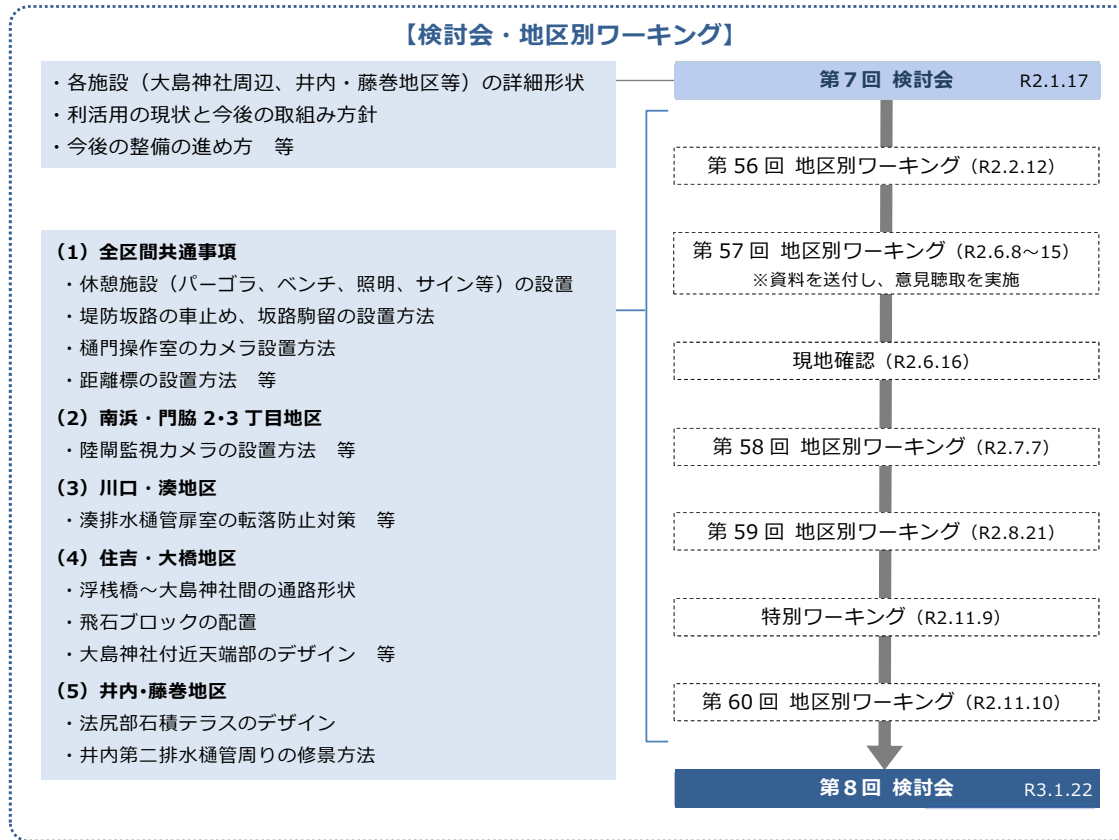
《第7回 旧北上川河口かわまちづくり検討会》

日時：令和2年1月17日（金）10：00～12：00

場所：石巻市かわまち交流センター「かわべい」



2 「第7回 旧北上川河口かわまちづくり検討会」(R2.1.17) 以降の検討概要



3 地区別ワーキングでの検討概要

回・開催日	議題	検討概要
令和元年度 第56回 R2.2.12	<ul style="list-style-type: none"> ①第7回検討会での指摘事項と対応方針 ②【住吉大橋地区】(浮棧橋～大島神社間) 通路形状及び石積接続部のデザインについて ③【住吉大橋地区】(大島神社～住吉小前) 飛石の設置間隔修正案について ④【全地区共通】堤防坂路等の車止めの標準形状案について 	<ul style="list-style-type: none"> ②テラスの脱輪防止は設置しない。供用開始後、課題が発生した場合に設置する。 ③大島神社前の飛石は、施工済みである住吉小学校前の状況を確認し、検討する。 ④車止めは全区間で統一したデザインとする。1.5m幅で割付、チェーンは設置しない。
令和2年度 第57回 R2.6.8～15 ※資料を送付し、意見聴取を実施	<ul style="list-style-type: none"> ①各地区の課題と共有事項について ②【住吉・大橋地区】飛石ブロックの配置について ③【井内・藤巻地区】法尻部石積テラスについて ④【井内・藤巻地区】井内第二排水樋管周りの修景について ⑤【川口・湊地区】湊排水樋管扉室の転落防止の対策について ⑥【南浜地区】陸間監視カメラの追加設置について 	<ul style="list-style-type: none"> ①坂路に設置される法面への乗上げ防止ブロックの違和感が大きい。 ④広域で確認しないと、全体のおさまりのバランスがわからない。 ⑤入れるような構造とすると、仮に事故が起きた場合、瑕疵責任が問われる。 ⑤柵は非設置としたい。 ⑥緊急時の為の施設である事を考えると、死角が無いようにするべき。
令和2年度 第58回 R2.7.7	<ul style="list-style-type: none"> ①【住吉・大橋地区】飛石ブロックの配置について ②休憩施設(パーゴラ・ベンチ・照明・サイン等)の設置について ③【川口・湊地区】湊排水樋管扉室の転落防止対策について ④【南浜地区】陸間監視カメラ配置について ⑤【井内・藤巻地区】法尻部の石積テラスの形状・設置方法について ⑥【井内・藤巻地区】井内第二排水樋管周りの盛土形状について ⑦【全地区共通】坂路駒止の設置方法について 	<ul style="list-style-type: none"> ①6月16日に、小林アドバイザー・事務所・施工業者・コンサルが施工状況を確認し、一部修正を依頼。 ②休憩施設の配置等について、小林アドバイザーの方で詳細を確認する。 ③新たに構造物を設置するのはできれば避けたい。柵を設置する必要がある場合は、縦桟タイプを基本とする。 ④支柱は溶融亜鉛メッキ仕上げ、カメラ本体の色彩は操作室と同系色のものの中から選定する。 ⑤石積テラスは、工程上から今年度の施工は困難である。 ⑥管理用階段とまち側からの階段を、川表側、川裏側ともに、上流側の幅3.5mの階段に集約する。 ⑦小型のブロックとアスカーブを比較検討し、採用案を決定する。

回・開催日	議題	検討概要
令和2年度 第59回 R2.8.21	<ul style="list-style-type: none"> ①【全地区共通】樋門操作室の監視カメラの設置について ②【川口・湊地区】湊排水樋管扉室の進入防止柵の選定 ③【井内・藤巻地区】井内第二排水樋管周りの盛土形状について ④【井内・藤巻地区】一段高い法尻テラスのデザイン案について ⑤【住吉地区】大島神社付近天端部の未決事項について ⑥【全地区共通】坂路駒止の設置方法について ⑦【全地区共通】距離標の設置方法について 	<ul style="list-style-type: none"> ②石巻市下水道管理課で判断いただく。 ③デザイン案を決定。 ④提案のデザインを基本とし、今後の対応について現場で判断いただく。 ⑤管理用通路の舗装はページユ系で、脱色アスファルト等も候補として再度製品を選定する。範囲は、下流側：下馬碑の設置に合わせた石積擁壁端部～上流側：川面階段上流側・坂路取り付け部までとする。 ⑤参道のコンクリート舗装については、テラス部分に合わせる仕上げ方とする。 ⑤可能であれば、川裏側の転落防止柵も石巻市で検討している川表側のものと同合わせる。困難な場合は、トッパーールが通ったシンプルな形状のものを用いる。 ⑥設置の判断については、事務所で決定する。設置する場合、小型のブロックを間隔を空けて設置する形状が相応しい。 ⑦距離標(位置把握サイン)は、基本的に200mピッチで設置する。予算等の面で設置が困難な場合は、同様の位置把握機能を持たせた他のデザイン案を検討する。
令和2年度 特別WG R2.11.9	<ul style="list-style-type: none"> ①今後の維持管理について ②照明灯について ③干潟空間について 	<ul style="list-style-type: none"> ①維持管理において、設計意図の伝達が重要であり、見るべき資料をまとめておく必要がある。文字だけでなく、図面としても設計意図が分かる資料を作成する。 ②ソーラー式の照明灯は、バランスの悪い製品が多いため避けたい。ソーラーパネルを別に設置できる照明灯であれば良い。 ③干潟空間の水面が狭いように感じる。今後手直しを行って欲しい。
令和2年度 第60回 R2.11.10	<ul style="list-style-type: none"> ①【川口・湊地区】湊排水樋管扉室の進入防止柵の選定について ②【住吉地区】住吉小前干潟空間及び飛石ブロックについて ③【住吉地区】大島神社周辺の堤防天端舗装や目地について ④【住吉地区】大島神社石積と土堤の擦り付け部のデザインについて ⑤【井内・藤巻地区】県道横断歩道の計画、及び一段高い法尻テラスの修正案 	<ul style="list-style-type: none"> ①注意喚起サイン+進入防止柵(H=1,100)を設置する。 ②地元小学校の総合学習の一環として、旧北上川に自生するヨシ原の移植や、干潟の生物の飼育や観察会等を検討する。 ③天端の管理用通路舗装は、まず通常の黒アスファルト舗装を施工し、神社周辺の整備が終了した後に、周囲の色彩に合わせて塗布式のカラー舗装を行う方針とする。 ④擦り付け部の法留の線形等の細部デザインを決定(少しセットバックして曲率を緩くする等)。 ⑤設計案のとおりで決定。

※地区別ワーキングで検討した内容を抜粋して掲載。



主な検討内容、検討結果等については、次頁以降へ掲載

4 地区別ワーキングでの主な検討結果

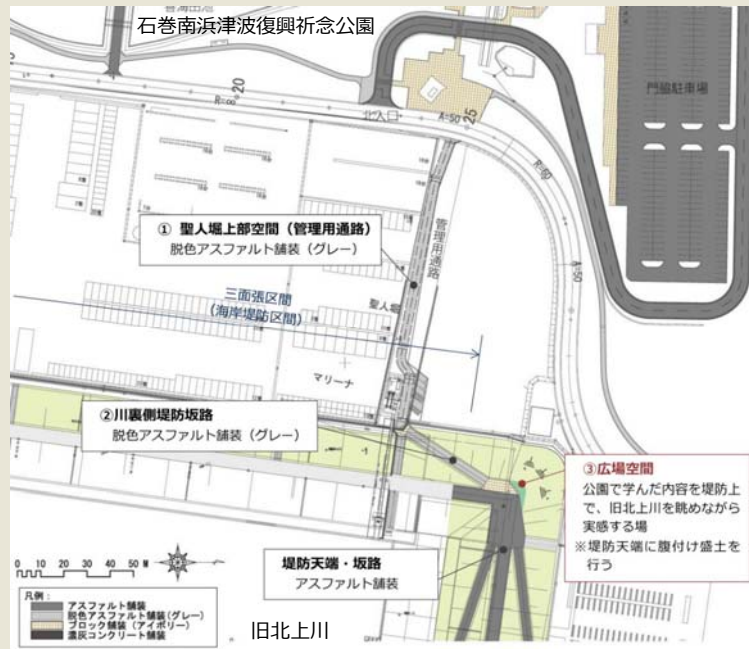
(1) 南浜地区 石巻南浜津波復興祈念公園との連携・腹付け盛土部のデザイン

石巻南浜津波復興祈念公園（以下、祈念公園）と河川堤防との動線が連続性を持つような、動線・舗装デザイン等の考え方について、前回検討会での意見等を踏まえ、再検討を行った。

【方針】

河川に祈念公園と同基調の舗装を使用し、空間の連続性を持たせる

《第7回検討会提示イメージ》

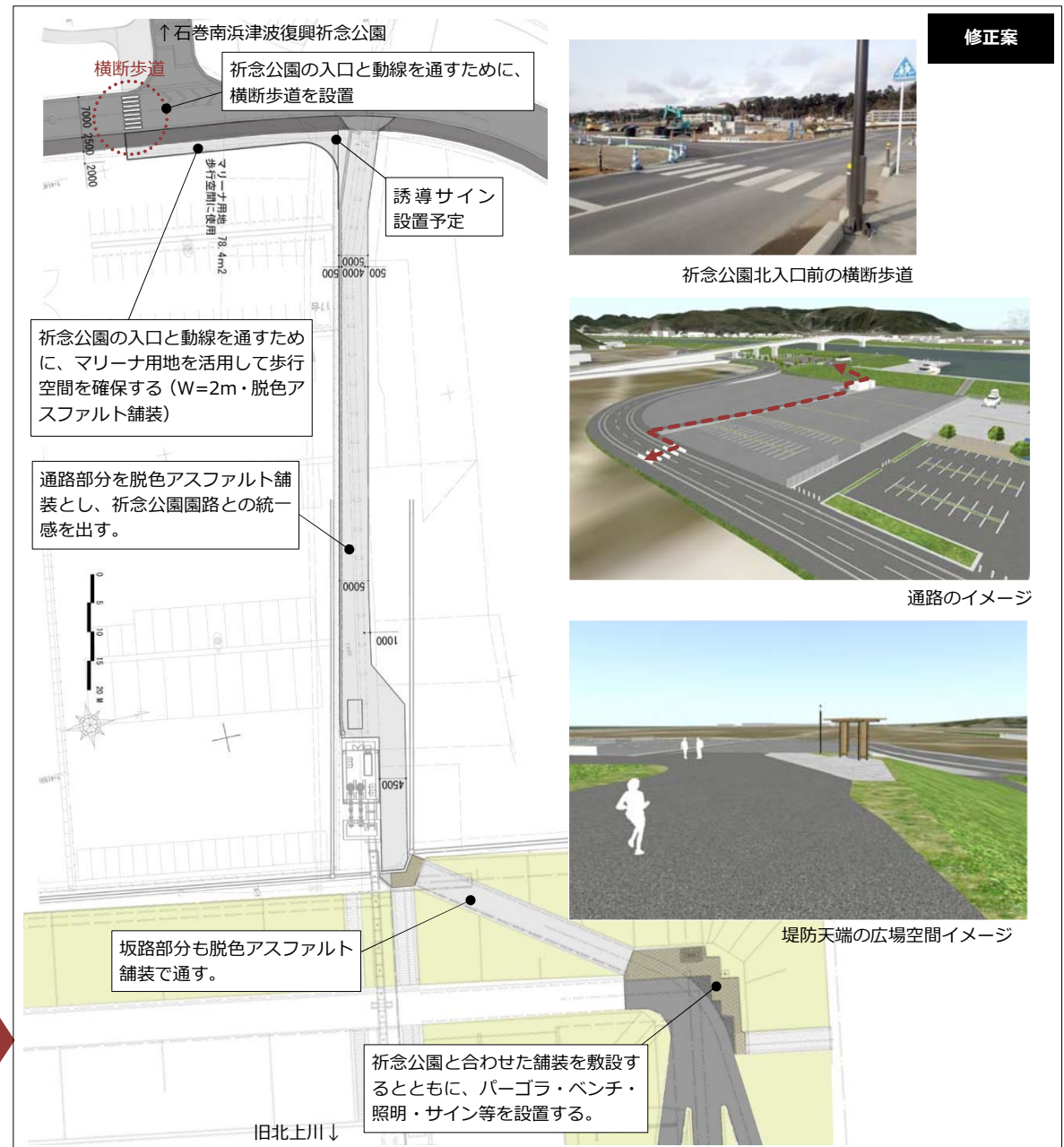


◇第7回検討会での意見等◇

- ・祈念公園の入口と排水機場の管理通路部分との間に、横断歩道の設置を検討して欲しい。
- ・舗装パターンを揃えとともに、祈念公園の園路の線形が緩やかなカーブを描いているため、その形状に合わせた方がよい。

【検討結果】

- マリーナ用地を活用して歩行空間を確保し、横断歩道を設置する方向で協議を行っていく。
- 堤防天端にポケットパーク的な整備を行い、祈念公園と合わせた舗装を敷設するとともに、パーゴラ・ベンチ・サイン等を設置し、公園と河川との連携を図る。



(2) 住吉・大橋地区

住吉・大橋地区については、以下の箇所に関する検討を行った。

- ①大島神社石積下流部のデザイン
- ②飛石ブロックの配置
- ③住吉小学校前の干潟空間

: 詳細の報告内容



①大島神社石積下流部のデザイン

- ・大島神社前袖石積と土堤部の接合部について、石積の基礎構造が露出しないようなデザインを検討した。
- ⇒詳細は7頁に示す

②飛石ブロックの配置

- ・第7回検討会意見ならびに、現場での調整を踏まえて、飛石区間両端部の設置方法（グラデーションとなる見せ方）等を検討した。
- ⇒詳細は8頁に示す

③住吉小学校前の干潟空間

- ・現場での調整を踏まえて、施工を完了した。
- ⇒詳細は9頁に示す

①大島神社石積下流部のデザイン

当該箇所の袖石積は、定規断面を侵さないよう石積端部が天端肩より前に出た位置となる。端部の小口止めコンクリートおよび袖石積の基礎コンクリートが露出する可能性があるため、小口止めコンクリートおよび天端肩自体を前に出す等の擦り付け部のデザイン検討を行った。

【検討結果】

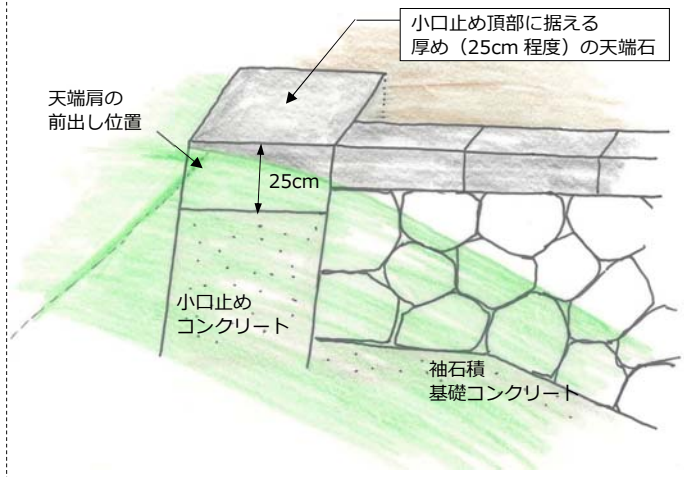
①小口止めに対する修景

- ・後述するアースデザインにより、袖石積の基礎コンクリートおよび小口止めコンクリートの埋め戻しを行う。なお、時間経過による法肩部の土工形状の変化（沈みや欠落等）による小口止めコンクリートの露出を避けるため、小口止め上部の笠石に対し余裕を持たせた厚み（25cm程度）とする。

②アースデザインによる修景（天端肩部の前出し）

- ・階段工から滑らかに擦り付ける形状で天端肩部の前出しを行う。これに合わせて、階段工と袖石積の間の法面を全体的に前出しする形状で修景する。修景法面の形状は、法面下部の踊り場形状に合わせる形のコンター形状とする。

■小口止めコンクリートの修景イメージ

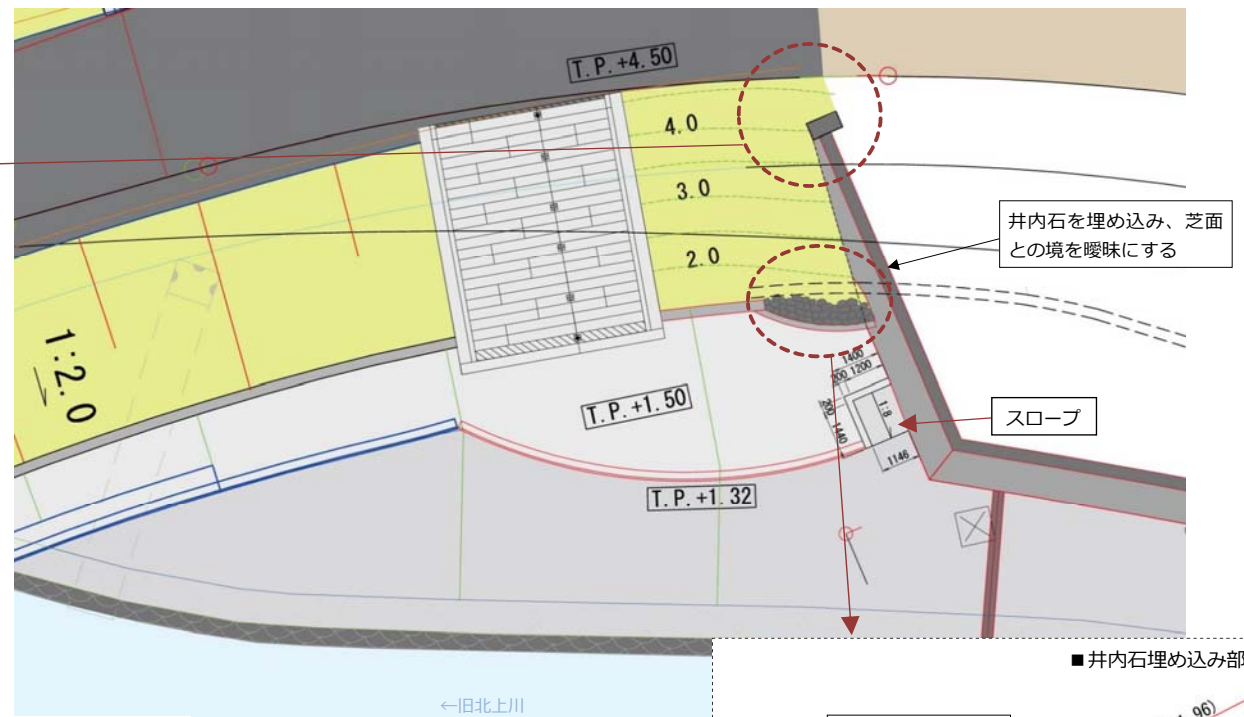


■整備イメージ

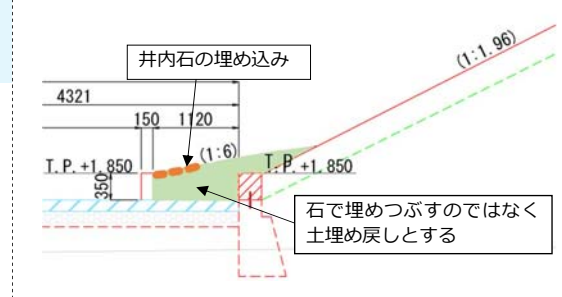


CGイメージ

■アースデザインによる修景イメージ



■井内石埋め込み部



② 飛石ブロックの配置

第7回検討会意見ならびに、現場での調整を踏まえて、飛石区間両端部の設置方法（グラデーションとなる見せ方）等を検討した。

【検討結果】

- 飛石設置区間の両端が唐突に終わる印象とならないよう、グラデーションを付けた配置を行った（2個ないし3個のセットで断続的に配置し、フェイドアウトするようなデザインとした）。
- 飛石の意味が利用者に伝わりやすいよう、設置する高さを5cm程度下げる（水面に近づく）よう調整して施工した。



下流側飛石区間の施工状況（航空写真）



現場での微調整
(R2.6.16)



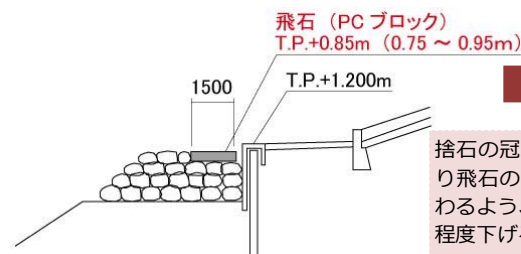
特別WGでの確認
(R2.11.9)



下流側飛石区間の施工状況 (R3.1)

【当初計画】

T.P.+0.90m を基本に、T.P.+0.80～T.P.+1.00m の範囲で設置

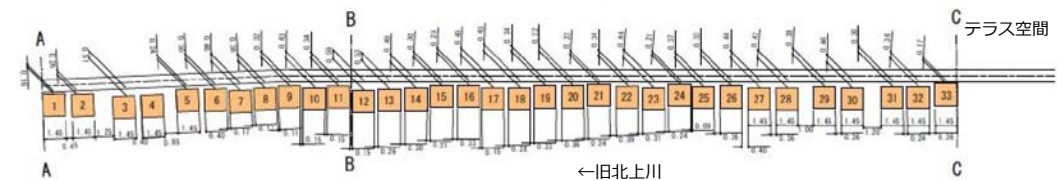


捨石の冠水頻度を高め、より飛石の印象が利用者に伝わりやすいよう、設置高さを5cm程度下げる。

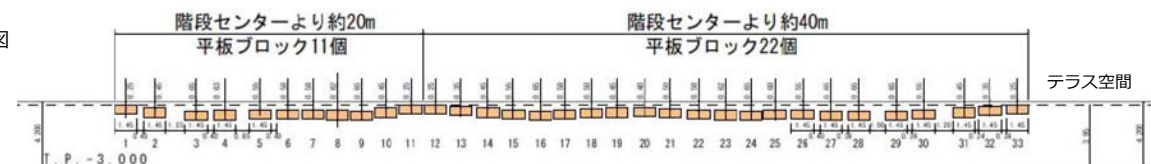
【修正案】

- 未施工区間の飛石設置目安：T.P.+0.85 を基本に、T.P.+0.75～T.P.+0.95 の範囲で設置
- 飛石ブロック端部は、2個ないし3個のセットで断続的に配置して終わらせる

平面図



縦断面図



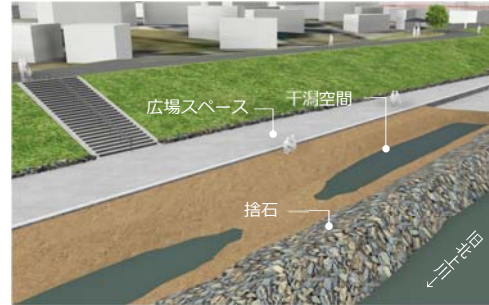
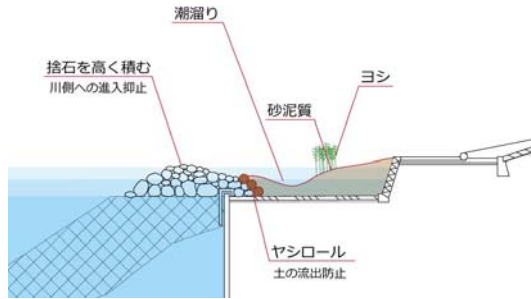
③ 住吉小学校前 干潟空間造成形状

現場での調整を踏まえて、施工を完了した。干潟空間の植生については、地元と協働した作業を計画している。

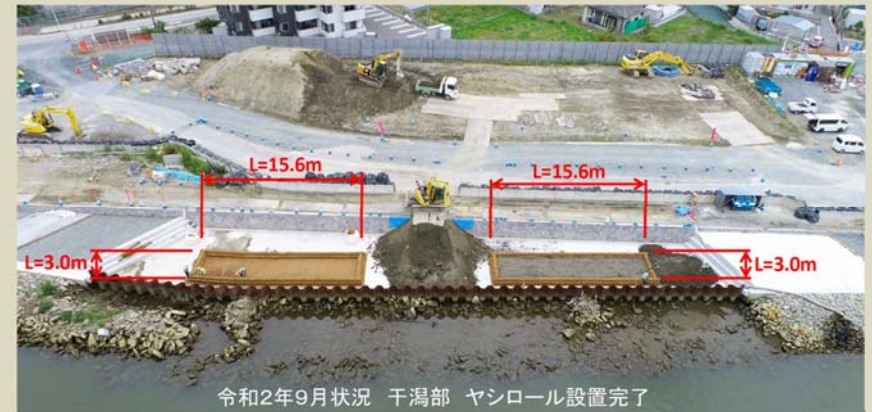
【検討結果】

- 子供たちが自然環境に触れ合え、学び・遊べる場として位置付ける。そのため、潮溜りのある干潟空間を造成し、水辺の原っぱ遊び等の多様な活動が行えるようにする。
- 潮溜りは、生物生息空間としての多様性の創出を目指し、上下流に分けて2箇所に造成。各々の潮溜りは、背後の埋め戻し盛土の安定勾配を確保しながら最大限の広さを確保できるよう、概ね16m×3mの規模とした。
- 水生植物や水生動物の定着に配慮し、底面にはヤシマットを、法留にはヤシロールを敷設した。
- 今後は、子供たちや地先住民との協働作業で旧北上川で自生しているヨシの移植および播種を行うとともに、地元小学校の総合学習（干潟に生息する生物の飼育や観察会等）の場としての活用を検討していく。

【当初計画】



【施工状況】



(4) 井内・藤巻地区

井内・藤巻地区については、以下のデザイン案等について検討を行った。

- ① 県道横断歩道の計画および一段高い法尻テラスのデザイン
- ② 井内第二排水樋管・扉室部築堤デザイン 等

① 県道横断歩道の計画および一段高い法尻テラスのデザイン

- ・ 県道横断箇所における横断歩道の設置について、検討を行った。
- ・ 井内石を用いた腰石積みのデザインについて、広範囲におよぶテラス全体の整備は実施が困難なため、区間を絞るとともに、デザインの見直しを図った。

⇒詳細は 11 頁に示す



R2.12 の状況

② 井内第二排水樋管・扉室部築堤デザイン

- ・ 井内第二排水樋管の扉室周りのデザインについて、条件の変更に合わせて見直しを図った

⇒詳細は 12 頁に示す



令和2年11月撮影

① 県道横断歩道の計画および一段高い法尻テラスのデザイン

当該法尻テラスの整備と関わる階段工と、そこに至る横断歩道の設置について、警察との協議を行い決定した。

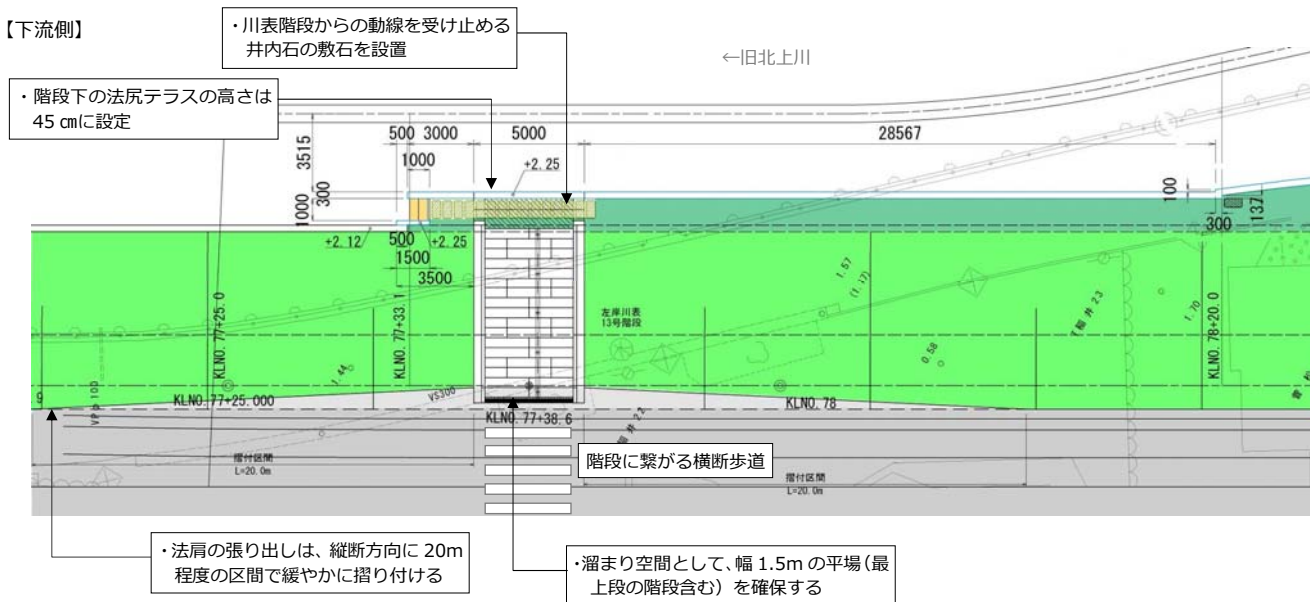
また、井内・藤巻地区のテラスは、当該地区ならではの雰囲気伝える井内石腰積みによる「一段高い法尻テラス」の整備を計画していたが、井内石の腰積み整備が困難となったことから、デザインの修正検討を行った。

【検討結果】

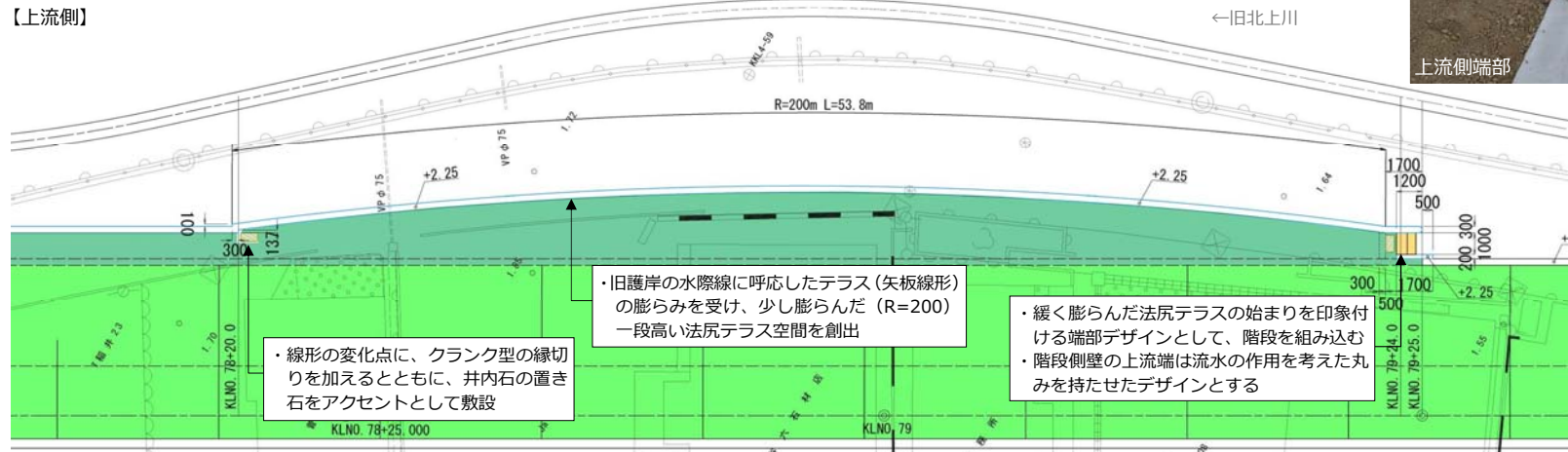
○警察協議の結果、階段工の天端部に奥行き1.5mの溜まり空間を設けることを条件に、横断歩道の設置が許可されることとなった。

○凸部の矢板護岸の線形を踏襲した、高さ45cmのコンクリート土留めによるシンプルな法尻テラス（下図、深緑色部分）を創出するデザインとした。

【下流側】

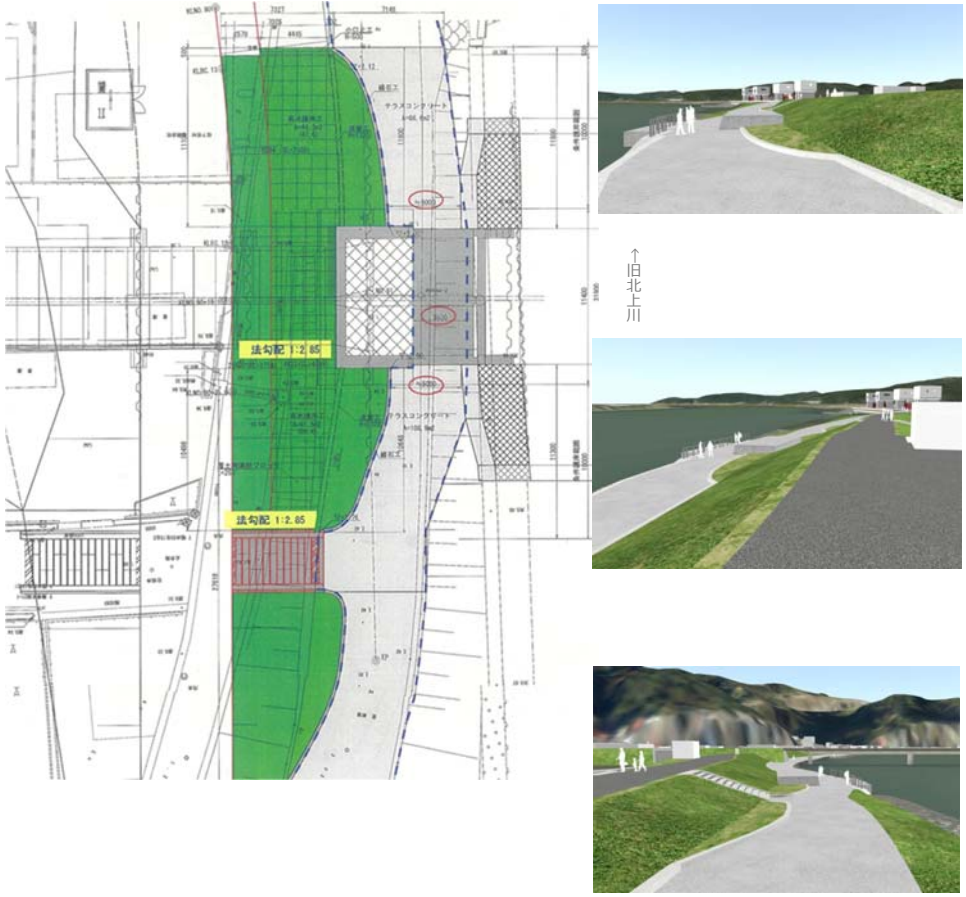
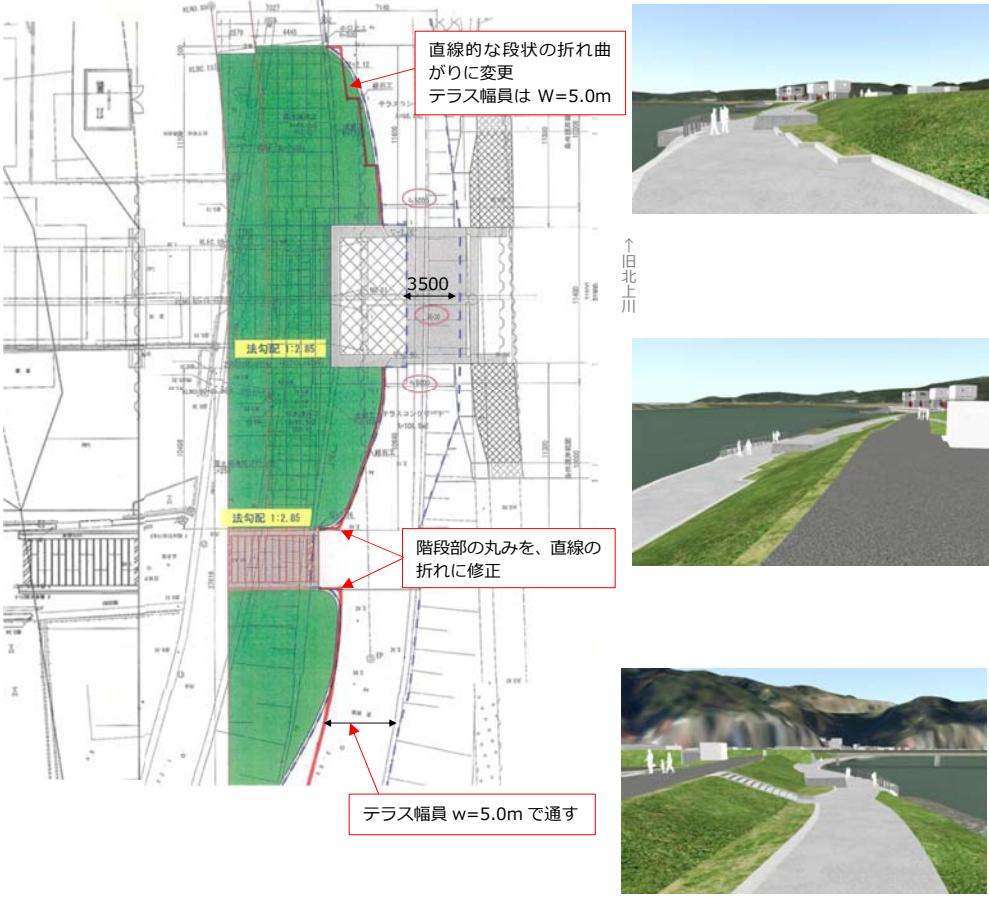


【上流側】



②井内第二排水樋管・扉室築堤デザイン

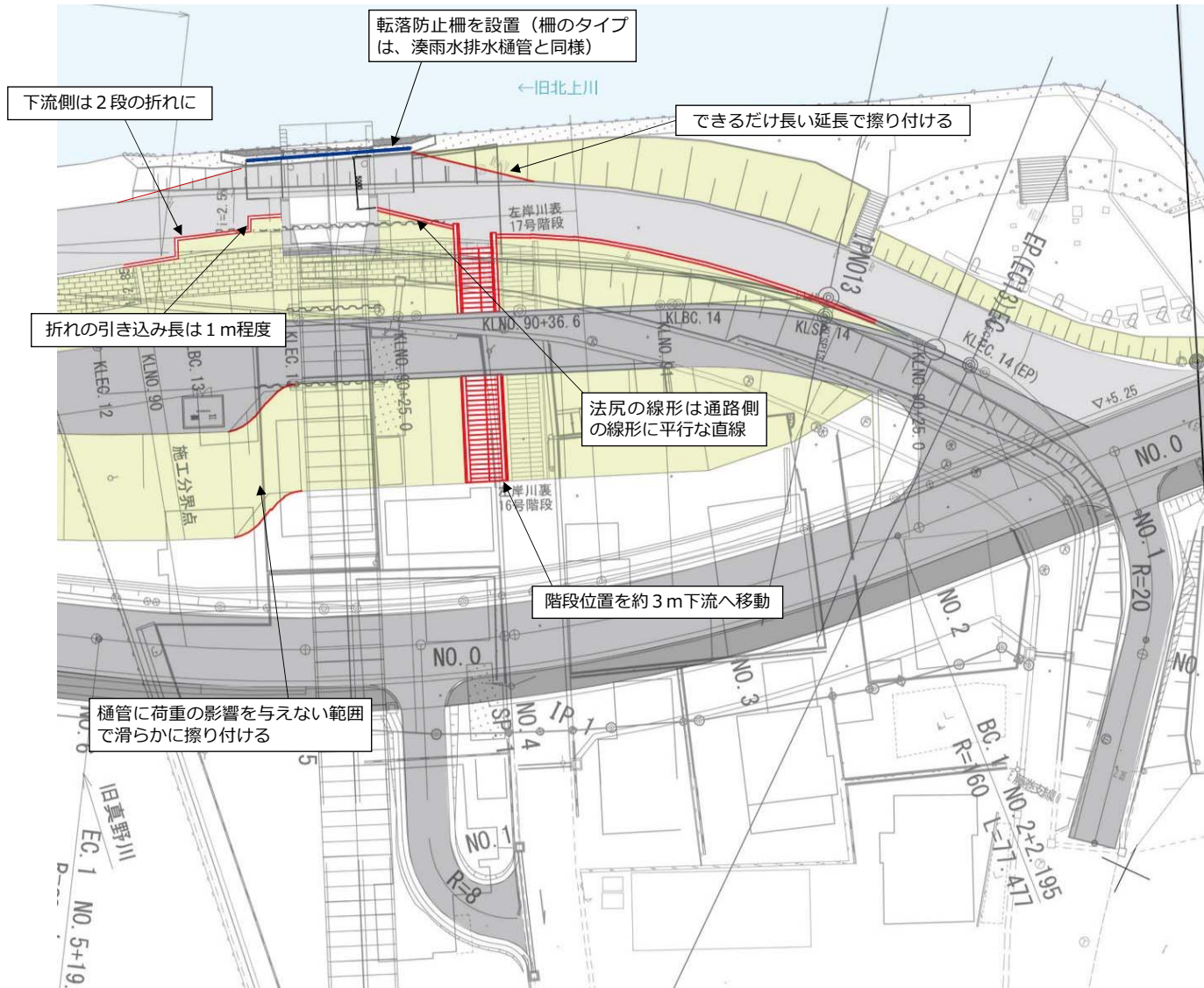
井内第二排水樋管扉室が法面から大きく飛び出す当初案に対し、違和感を軽減するために上下流の法尻線形および法面処理等のデザインを検討した。

案① 全体的に曲線を入れた案	案② 下流側の法尻線形を受け直線的にする案 ※赤線部
	
<ul style="list-style-type: none"> 条件護岸の設置範囲について、上下流ともに法尻部の線形に丸みを持たせている。 法面の勾配は 1 : 3.0 を基本とし、法尻部の線形に丸みを持たせた部分を 1 : 10 と緩勾配化している。 	<ul style="list-style-type: none"> 下流側：下流側の直線的な区間から擦り付けるために、法尻部は直線的に3段階に折れ曲がる形とする。 上流側：階段取付き部の丸みを直線の折れに修正する。また、下流側のきつい丸みは緩やかな形状とする（デラス幅員 w=5.0m で通す）。
<ul style="list-style-type: none"> 直線的な法尻の線形や扉室等、直線的なものが多い空間の中で、丸みが唐突な印象となる。 	<ul style="list-style-type: none"> 直線的な線形で擦り付けることで、左記の違和感が軽減される。

【検討結果】

前頁の案②を基に、階段の位置やテラス部の設計等の細部形状を整え、以下の案を最終案として採用した。

- 下流側の法尻は、下流側の直線的な区間から擦り付けるために、直線的に2段階に折り曲げる形状とする。
- 上流側の法尻は、階段を変化点として、上流側を曲線、扉室側を直線の折れに変更した形状とする。



(6) 全地区共通 坂路車止め設置方法

坂路等に設置する車止めについて、設置個所が多く様々な形状・色彩のものが混在しないよう、統一ルールを検討した。

【検討結果】**(1) 基本形状について**

○北上川下流河川事務所管内の車止めのほとんどが単独ポール型であることや、単独ポール型であれば、損傷被害を受けた場合もポール1本ごとの交換で対応が可能であること等を踏まえ、車止めの基本形状は、単独ポール型（複数本設置）構造を採用する

(2) 景観面での配慮について

- かわまち区間に相応しい良好な質感を確保する
- 必要以上の自己主張のないシンプルな形状、色彩の製品を採用する。
- 多数が設置されることになることから、経済性に十分配慮した製品を選択する。
- 損傷被害を受けた場合も容易に補修・交換が可能ないように、市場流通製品を選択する。
- 中央地区等、先行整備が進む地区における類似構造物の施工実績との調和にも配慮する。
- 今後、各地区で整備を進めるにあたっては、決定した形状・デザインを統一的に採用することを基本的な方針とする。

(3) 標準デザイン案

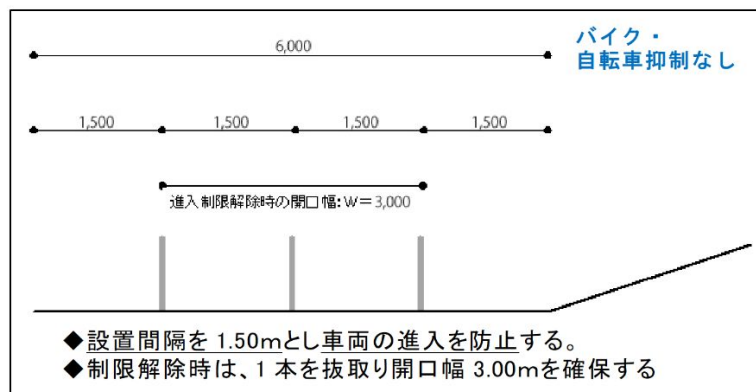
- 車止めは、全区間で統一した製品を用いる。
- 自己主張のないシンプルな色彩の採用を基本としながら、かわまち区間での統一性に配慮し、中央地区交通広場で採用されているガンメタリック塗装を標準とする。

(4) 配置方法について

- かわまち区間内の坂路は、箇所によって幅員がことなることから、配置本数はそれぞれの条件に応じて決定する。
- なお、バイクの進入防止や、川前テラスへの自転車の進入については、物理的な進入防止策だけではなく、注意喚起サインの設置と併せて検討する。



かわまち立体駐車場前のポラード（ガンメタリック塗装）

配置方法：単独ポール型（複数本設置）

5 水辺空間の利活用・維持管理等に関する検討

(1) 利活用の現状

① 中央地区堤防一体空間 都市・地域再生等利用区域の指定に向けた社会実験

新しく創出される水辺空間を活用していくために、平成29年11月から「旧北上川堤防利活用勉強会」を開催。その後、平成30年12月から「旧北上川堤防利活用協議会」を発足させ、交流人口の増加、周辺商店街の活性化等を目的とした、中央地区堤防一体空間の多目的利用について検討を進めてきた。

令和元年8月からは、中央地区堤防一体空間の「都市・地域再生等利用区域」の指定に向けて、商業活動やイベントの開催等の社会実験を行っている。

〈旧北上川堤防利活用協議会 参加団体等〉

網地島ライン、石巻商工会議所、石巻観光協会、ISHINOMAKI2.0、元気いしのまき、仲町第三親和会、橋通り会、街づくりまんぼう、みらいサポート石巻
石巻専修大学、東北大学
宮城県石巻港湾事務所、北上川下流河川事務所、石巻市

■ 商業活動の状況



【その他イベント等での利活用状況（一部）】

■ かわべでシアター 令和2年8月29日（土）、9月19日（土）

- 目的・内容
 - ・ 萬画館をスクリーンに映画の上映会を行うという新たな水辺空間の楽しみ方を提案し、市民の思い出にしよう。
 - ・ 法面端部に上映機材を設営し、天端部分を観客席とした。
- 来場人数：約800名（2日間合計）



■ トリコロレ音楽祭 presents かわべでライブ 令和2年9月21日（月）、22日（火）

- 目的・内容
 - ・ かわべでの音楽の演奏や、音楽を聞くことの気持ち良さを感じていただく。ここで演奏したい、また来て聞いてみたいと思ってもらえるようにする。
 - ・ 地元アマチュアバンドによる音楽演奏。
- 来場人数：約400名



■ 星空天体観測会 令和2年10月25日（日）18:00～20:00

- 目的・内容
 - ・ 仙台天文同好会の協力のもと、天体望遠鏡を6台設置し、月、火星や土星等を観測する機会を設けた。
 - ・ 市内飲食店の星空に因んだディナーメニューのお弁当を準備し、参加者と仙台天文同好会とで堤防上で食事会を行った。食事中は、石巻出身のアーティストによる弾き語り演奏を行った。
- 来場人数：25名



② 日常的な利用の状況

一部完成（開放）した区間においては、釣りや散策をする多くの市民の姿が見られる。

【中央地区】



テラスを散歩



堤防に腰掛けておしゃべり



川面を見晴らしながらの散策



四阿で一休み

【湊地区】



シーバス釣り

③ 旧北上川復旧復興事業一般住民見学会

住民意見を反映させながら進めてきた「旧北上川河口部復旧復興事業」について、令和2年11月7日（土）、8日（日）に国・県・市合同で市民への現場説明会を開催し、100名を超える方々に参加いただいた。



新しい堤防をウォーキング（川口・湊地区）



プロムナード（休憩施設）説明



「石巻かわみなと大橋」説明



堤防と一体に嵩上げた住吉神社（住吉町）



住民意見を反映した飛石体験（住吉町）



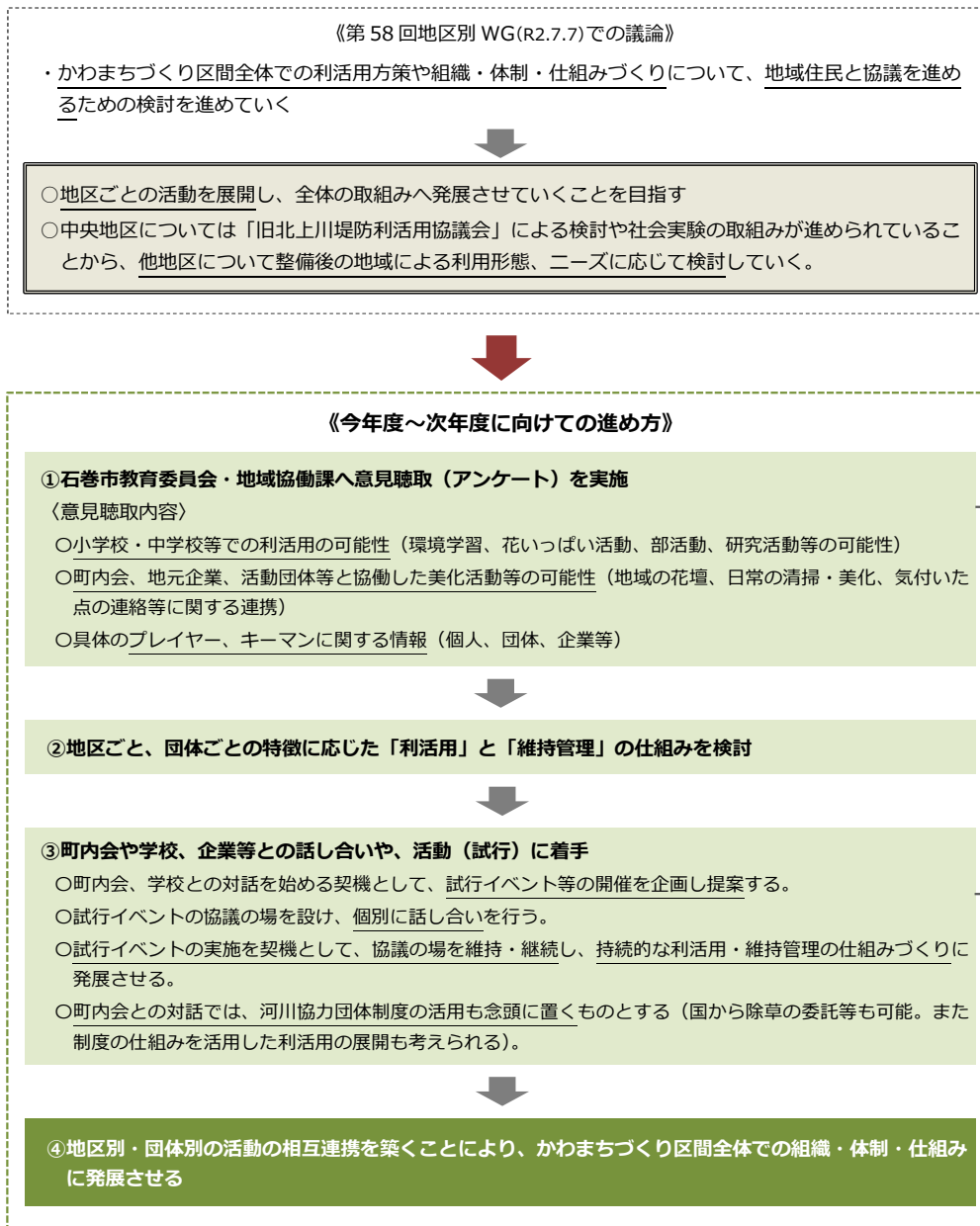
大島神社の石積みに注目する参加者（住吉町）

<参加者のコメント>

- これだけ立派なものをつくっていただいて安心感がある。
- 眺めが良くて心地よい空間。堤防が一連で整備され、河口まで歩けるようになるのが楽しみ。

(2) 利活用・維持管理等の検討の基本方針

利活用・維持管理等について市民等との協働を進めていくために、今年度から次年度にかけて、以下のような方向性で検討を進めていく。



《実施内容等》

【石巻市教育委員会・地域協働課へ意見聴取（アンケート）結果】

- 利活用等について**
 - ・環境学習、防災教育に関連させた堤防整備の学習等の可能性あり
 - ・早めに関係する小中学校に声をかけて依頼することが必要
- 美化活動等について**
 - ・町内一斉清掃活動をしている町内会あり
 - ・中学校で、ふるさと教育で地域のごみ拾い活動をする計画がある

引き続き、キーマン、その他関連情報等に関する意見聴取を実施

【意見聴取（ヒアリング）を実施する】

- ・湊小学校、住吉小学校等の教員に意見聴取を実施する。
- ・沿川の自治会長（門脇明星会、住吉町町内会、大橋町内会、水明町内会、大瓜井内町内会等）に対する意見聴取を実施する。
- ・川の活動団体等に意見聴取を実施する。

【協働によるヨシ植えイベントを実施する】

- ・整備された干潟空間を活かし、小学生や地域の方々と協働してヨシを植える。

■実施方法（案）

- 移植イベントのメインは、「種まき」とする。
- 種まき方法：イベント参加者で「種ダンゴ」（土と種子を混ぜて土団子を作り、円盤状にしたもの）を作り、水際にダンゴを置いて、軽く踏み、表土になじませる。
※種子（穂）は採取済み。
- ダンゴを作る材料の土は、南境地区でヨシ根茎掘り採り時に集める（コンテナ（4リットル）×2個程度）。
- イベント参加者用に準備するのはビニール手袋のみ（長靴持参）